

報道関係者各位

令和7年10月30日

## 京都外国語大学と連携した展覧会を開催します

### 「戦後100年に向けて一若者が語り継ぐ舞鶴の引揚一」

舞鶴市がユネスコ世界記憶遺産登録に向けて設置した「舞鶴市世界記憶遺産有識者会議」の委員であったクレイグ・スミス教授（故人）が所属されるなど、縁のある京都外国語大学と連携し、戦後80年、ユネスコ世界記憶遺産登録10周年記念事業として、舞鶴引揚記念館収蔵資料や継承の取り組み紹介を大学の資料館や構内で展示することとなりましたのでお知らせいたします。

今回の展覧会は、同大学の博物館学芸員課程の学生が中心となり企画・展示するもので、引揚記念館資料の展示としては初めての形態となり、本市が進める「次世代による継承」の一環としても取り組んでいるものです。

1. 展覧会名称 企画展「戦後100年に向けて一若者が語り継ぐ舞鶴の引揚一」

2. 開催期間 令和7年11月25日（火）～ 令和8年2月27日（金）  
休館日 土曜日、日曜日、祝日  
年末年始（12月20日（金）～1月4日（日））  
このほか、大学が定める入構不可日

3. 会場 京都外国語大学 国際文化資料館、1号館1階

4. 主催 京都外国語大学 国際文化資料館、同学芸員課程

5. 共催 舞鶴引揚記念館（舞鶴市）

#### 6. 展示趣旨

本展では、第二次世界大戦後のシベリア抑留という過酷な史実を、引揚港となった舞鶴の歴史とともに紹介します。遠く異国の地で苦難を経験した引揚者が日本の土を踏んだ「希望のふるさと」舞鶴の記憶を、未来を担う学生たちが過去と向き合い、その歴史を未来へと語り継ぐ活動に焦点を当てます。

展示は、舞鶴引揚記念館の収蔵資料を活用し、「シベリア抑留」から「舞鶴への帰還」に至る道のり、そして舞鶴の学生たちによる「語り部」活動までを全4部構成で紹介します。本展をきっかけに、来場者に「平和を願うだけでなく、まずは知ろう、未来へ伝えよう」とする姿勢が平和に繋がることを改めて考えていただきたいと考えています。

#### 7. その他

- ・ 京都外国語大学からも本日、別紙の通り広報資料が出される予定です
- ・ 展示の内容につきましては、別紙の大学広報資料をご覧ください



SDGs未来都市

舞鶴引揚記念館 館長 嵯峨根吉宏

〒625-8555 舞鶴市字北吸1044

TEL:0773-68-0836、FAX:0773-68-0370

E-mail:hikiage@city.maizuru.lg.jp